

# ESG Data Book

株式会社ダスキン  
最終更新日：2019/9/30

## ■凡例

グループ：株式会社ダスキン及び連結子会社

生産事業所：訪販Gのうち、国内にある生産事業所

加盟店：訪販G及びフードGのフランチャイズ拠点・店舗

協栄事業所：生産事業所の協力工場

本社・本部：本社ビル、情報システム部、コンタクトセンター、地域本部

省エネ法特定連鎖化事業者：

- ・本社及び地域本部
- ・訪販G：国内の直営事業所、直営生産事業所（大阪中央工場、横浜中央工場）
- ・フードG：直営、関係会社の一部、フランチャイズの拠点・店舗

# 環境

## 気候変動

環境理念・環境方針	有	「環境理念」「環境方針」 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/management/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/management/index.html</a>
気候変動方針 気候関連のリスクと機会への取り組み	有	「環境理念」「環境方針」に含む 気候変動への対応 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/savingenergy/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/savingenergy/index.html</a>
気候変動対策の支援表明	有	参考URL：環境省「Fun to Share」キャンペーンウェブサイト <a href="http://funtoshare.env.go.jp/entry/list/001865_6.html">http://funtoshare.env.go.jp/entry/list/001865_6.html</a>
気候変動を含む環境施策の責任者	有	最高環境責任者 上席執行役員 藤井 修治
エネルギー使用に関する方針	有	気候変動への対応 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/savingenergy/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/savingenergy/index.html</a>
エネルギー削減目標	有	生産事業所毎の実績に基づいて、標準使用量（目標値）を毎期設定・管理
CO <sub>2</sub> 排出量削減目標	中期目標（2020年度）	省エネ法に沿って、前年度比1%減。「2020年度に2013年度比16%削減」
	長期目標（2030年度）	サプライチェーン全体の低炭素化に貢献。「2030年度に2013年度比26%削減」
CO <sub>2</sub> 排出量及びエネルギー消費量の第三者保証	有	独立第三者の保証報告書 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/report/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/report/index.html</a>

		ハウダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
エネルギーの使用に係る原単位（対前年度比）		省エネ特定連続化事業者	%	98.9	103.2	101.4	98.8	96.9
エネルギー使用量 ※2016年度分より算定方法を見直し	電気	グループ及び加盟店、協栄事業所	千kWh	215,977	209,542	184,356	173,285	162,835
	都市ガス・プロパンガス	グループ及び加盟店、協栄事業所	千m <sup>3</sup>	5,914	5,427	6,089	6,179	5,751
	灯油・重油	グループ及び加盟店、協栄事業所	千L	10,167	9,874	8,521	8,269	8,161
	合計	グループ及び加盟店、協栄事業所	千GJ	2,901	2,802	2,527	2,407	2,273
CO <sub>2</sub> 排出量 ※2016年度分より集計範囲及び算定方法を見直し	スコープ1	グループ及び協栄事業所	t-CO <sub>2</sub>	53,618	52,576	34,484	34,324	33,473
	スコープ2	グループ及び協栄事業所	t-CO <sub>2</sub>			27,655	31,092	29,856
	スコープ3（サプライチェーン全体を通じた温室効果ガスの排出）		t-CO <sub>2</sub>	498,484	486,943	456,019	395,197	373,619
	カテゴリ1	購入した製品・サービス	t-CO <sub>2</sub>			264,626	249,251	238,232
	カテゴリ2	資本財	t-CO <sub>2</sub>			14,834	14,215	15,093
	カテゴリ3	スコープ1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	t-CO <sub>2</sub>			2,135	2,118	2,115
	カテゴリ4	輸送、配送（上流）	t-CO <sub>2</sub>			29,544	29,174	28,462
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物	t-CO <sub>2</sub>			423	444	407
	カテゴリ6	出張	t-CO <sub>2</sub>			376	408	407
	カテゴリ7	雇用の通勤	t-CO <sub>2</sub>			2,299	2,224	2,237
	カテゴリ8	リース資産（上流）	t-CO <sub>2</sub>			該当なし	該当なし	該当なし
	カテゴリ9	輸送、配送（下流）	t-CO <sub>2</sub>			該当なし	該当なし	該当なし
	カテゴリ10	販売した製品の加工	t-CO <sub>2</sub>			該当なし	該当なし	該当なし
	カテゴリ11	販売した製品の使用	t-CO <sub>2</sub>			46,907	11,058	10,264
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄	t-CO <sub>2</sub>			該当なし	該当なし	該当なし
	カテゴリ13	リース資産（下流）	t-CO <sub>2</sub>			20,279	19,680	18,224
カテゴリ14	フランチャイズ	t-CO <sub>2</sub>			74,597	66,625	58,179	
カテゴリ15	投資	t-CO <sub>2</sub>			該当なし	該当なし	該当なし	
	合計		t-CO <sub>2</sub>	552,102	539,520	518,159	460,614	436,949

## 汚染と資源利用

汚染/廃棄物/資源使用に関する方針	有	循環型社会への取り組み <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/recycling/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/recycling/index.html</a>
汚染/廃棄物/資源使用の低減目標	有	生産事業所毎の実績に基づいて、標準発生値（目標値）を毎期設定・管理

		ハウダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
NO <sub>x</sub> 排出量		単体※1	t	0.18	0.16	0.12	0.08	0.05
薬品使用量	生産事業所	グループ及び協栄事業所	t	7,332	6,667	5,660	7,140	6,967
	うち洗剤	生産事業所	グループ及び協栄事業所	1,766	1,765	1,766	1,756	1,712
特別管理廃棄物の発生量	生産事業所	グループ及び協栄事業所	t	なし	なし	なし	なし	なし
廃棄物の発生量	生産事業所	グループ及び協栄事業所	t	15,304	15,034	14,936	14,451	14,070
資源リサイクル量（資源ゴミ、サービス用品、ダンボール等）	生産事業所	グループ及び協栄事業所	t	2,398	1,997	1,744	1,456	1,367
食品廃棄物の発生量	フードG	グループ及び加盟店	t	8,511	6,858	6,502	5,600	5,187
発生抑制量	フードG	グループ及び加盟店	t	450	1,245	876	1,433	1,728
再生利用等実施率	フードG	グループ及び加盟店	%	33.6	41.5	36.3	40.3	42.6
事務用品等のグリーン購入比率	本社・本部	単体	%	100	100	100	100	100
コピー用紙使用量	本社・本部	単体	t	71.0	70.9	58.1	58.4	52.5
低公害車導入台数	本社・本部、他※2	単体	台	2,595	2,638	2,751	2,773	2,803
ISO14001の取得事業所割合（従業員数ベース）		単体	%	62.0	62.6	62.9	65.3	70.1
環境関連法規の違反による罰金額		グループ及び加盟店、協栄事業所	円	0	0	0	0	0

※1 東京都、大阪府、愛知県の直営事業所車両

※2 連結子会社、訪販Gの直営事業所

## 水使用

水使用量/漏水削減に関する方針		有	水資源の保全・有効活用 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/waterresources/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/waterresources/index.html</a>
水リスク要因と主な影響		有	
水使用量/漏水削減の目標		有	生産事業所毎の実績に基づいて、標準発生値（目標値）を毎期設定・管理
水使用削減に向けた取り組み	生産事業所	有	モップやマットの洗浄工程で処理水の一部を洗濯水として再利用
水使用量の第三者保証		有	独立第三者の保証報告書 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/waterresources/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/waterresources/index.html</a>

		バウンダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
取水量	生産事業所	グループ及び協栄事業所	千m3	2,229	2,247	2,266	2,207	2,223
うち上水	※2016年度分より算定方法を見直し		千m3			311	303	305
うち工業用水			千m3			412	402	405
うち地下水			千m3			1,542	1,502	1,514
取水量原単位	2016年を基準年100とした原単位		%			100.0	98.0	97.6
排水量	生産事業所	グループ及び協栄事業所	千m3			2,152	2,096	2,112
うち下水	※2016年度分より算定方法を見直し		千m3			1,350	1,315	1,325
うち河川			千m3			802	781	787

## サプライチェーン（環境）

環境に関するサプライヤー調達方針		有	環境マネジメント <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/management/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/ecology/management/index.html</a>
一次サプライヤーに対する環境リスク評価		有	「仕入先評価表」にて環境や廃棄における法令順守状況などの評価基準を設定
環境インパクトの削減を目的とする取り組み		有	パートナーシップを築いている取引先企業と調達体制の構築に努めている

		バウンダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
一次サプライヤーの監査実施率		単体	%	100	100	100	100	100

## 生物多様性

		バウンダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
白山国立公園の登山道にマット設置	訪販G	単体	枚	55	50	47	44	44

# 社会

## 労働基準

労働基準に関する基本方針	有	雇用・処遇 <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/person/data/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/person/data/index.html</a>
人材育成に関する基本方針	有	人材育成 <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/person/bringup/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/person/bringup/index.html</a>
多様性・均等機会方針	有	ダイバーシティ <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/person/diversity/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/person/diversity/index.html</a>
ワーク・ライフバランス方針	有	ワーク・ライフバランス <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/person/worklife/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/person/worklife/index.html</a>

		ハウダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
社員数	男性	ダスキングループ	人	2,306	2,350	2,325	2,429	2,443
	女性	ダスキングループ	人	1,181	1,188	1,203	1,344	1,370
	合計	ダスキングループ	人	3,487	3,538	3,528	3,773	3,813
入社人数	新規学卒	ダスキングループ	人	24	30	31	160	41
	中途採用	ダスキングループ	人	118	112	195	169	199
正社員への登用人数		ダスキングループ	人	28	36	100	111	36
退社人数		ダスキングループ	人	115	142	131	158	257
組合加入状況	加入者数	ダスキングループ	人	2,989	3,021	3,111	3,082	3,060
	加入率	ダスキングループ	%	100	100	100	100	100
有給休暇取得率		ダスキングループ	%	50.7	48.1	50.7	56.3	69.4
育児休業取得者数	男性	ダスキングループ	人	0	0	0	2	1
	女性	ダスキングループ	人	27	36	58	35	38
介護休業取得者数	男性	ダスキングループ	人	1	0	0	0	2
	女性	ダスキングループ	人	0	0	1	2	2
定年退職者の再雇用人数		ダスキングループ	人	32	77	61	53	63
障がい者雇用	人数	ダスキングループ	人	158	161	172	177	201
	比率	ダスキングループ	%	2.24	2.24	2.34	2.41	2.7
社員数	合計	ダスキングループ	人	1,928	1,960	1,954	1,991	2,020
	うち、女性	ダスキングループ	人	568	583	607	643	685
	女性社員比率	ダスキングループ	%	29.5	29.7	31.1	32.3	33.9
管理職人数	合計	ダスキングループ	人	362	367	349	375	372
	うち、女性	ダスキングループ	人	17	22	22	24	27
	女性管理職比率	ダスキングループ	%	4.7	6.0	6.3	6.4	7.2
入社人数（新卒・中途）	合計	ダスキングループ・正社員	人	33	31	114	108	73
	うち、女性	ダスキングループ・正社員	人	11	18	67	48	34
	入社女性社員比率	ダスキングループ・正社員	%	33.3	58.1	58.8	44.4	46.6
自己都合退社人数	合計	ダスキングループ・正社員	人	58	62	78	58	71
	自己都合退社率	ダスキングループ・正社員	%	82.8	86.1	80.4	71.0	55.0
平均年齢	男性	ダスキングループ	歳	45.6	46.0	46.2	46.7	47.0
	女性	ダスキングループ	歳	42.2	42.3	42.6	42.7	42.7
	全体	ダスキングループ	歳	44.5	44.9	45.1	45.4	45.6
勤続年数	男性	ダスキングループ	年	18.0	17.9	18.0	18.1	18.1
	女性	ダスキングループ	年	13.4	13.4	12.6	12.4	12.0
	全体	ダスキングループ	年	16.7	16.5	16.3	16.3	16.1
社員意識調査の評点		ダスキングループ	5点満点	3.83	3.78	3.76	3.79	-
一人当たり年間研修時間		ダスキングループ	時間	12.5	18.3	15.5	12.6	12.9
一人当たり年間総労働時間		ダスキングループ	時間	1,923	1,899	1,879	1,844	1,833

## 人権（サプライチェーン含む）

人権方針	有	「人権尊重に関する基本方針」
労働基本権 （結社の自由、団体交渉権）の方針	有	「人権尊重に関する基本方針」
児童労働防止方針	有	「人権尊重に関する基本方針」
強制労働防止方針	有	「人権尊重に関する基本方針」
非差別方針	有	「人権尊重に関する基本方針」
CSR調達方針	有	「CSR調達に関する基本方針」
国際規範の支持	有	世界人権宣言、ビジネスと人権に関する指導原則の尊重
人権リスク評価	有	最低賃金チェック、長時間労働の有無確認
人権リスクと影響検証に関する ステークホルダー・エンゲージメント	有	「ビジネスと人権に関する国際会議」に協賛・協力 <a href="http://crt-japan.jp/conference2016/">http://crt-japan.jp/conference2016/</a>
人権に関するイニシアチブ・協業への参加	有	「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」への参加 <a href="http://crt-japan.jp/portfolio/stakeholder_engagement_program/">http://crt-japan.jp/portfolio/stakeholder_engagement_program/</a>
人権侵害を報告できる苦情通報制度	有	社内外のホットラインを設置

## 健康と安全

健康と安全に関する基本方針			有	社員の安全・健康維持・増進
健康宣言		ダスキングループ		<a href="http://www.duskin.co.jp/csr/person/health/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/person/health/index.html</a>

	ハウダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
一般定期健康診断受診率	ダスキングループ	%	99.5	99.6	99.7	100	100	
精密検査受診率	ダスキングループ	%	15.2	18.4	19.5	35.2	48.6	
適正体重維持者率	ダスキングループ	%	67.3	68.2	66.2	66.6	67	
喫煙率	ダスキングループ	%	32.1	30.0	29.5	26.1	28.1	
運動習慣者比率	ダスキングループ	%	20.2	21.6	21.9	24.6	25.3	
労働災害者数	死亡	ダスキングループ	件	0	0	0	0	
業務災害		ダスキングループ	件	124	180	170	194	160
	うち、休業4日以上	ダスキングループ	件	22	31	26	44	28
通勤災害		ダスキングループ	件	24	36	33	34	30
	うち、休業4日以上	ダスキングループ	件	9	12	12	14	12

## 地域社会

地域・社会貢献活動方針			有	「地域・社会貢献活動方針」
-------------	--	--	---	---------------

	ハウダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
「クリーンアップマイタウン」の参加人数	ダスキングループ	人	41,795	28,916	32,428	4,236	22,295	
実施状況	ゴミ回収量	ダスキングループ	kg	1,254	621.4	654.4	204.2	5,039
「出前授業」の実施状況	参加小学校数	ダスキングループ	校	272	358	500	676	716
	参加児童数	ダスキングループ	人	24,494	32,413	45,348	55,964	61,390
寄附金	ダスキングループ	百万円	39	43	48	39	40	
株主優待の社会貢献寄付制度 ※愛の輪、日本赤十字に寄付	ダスキングループ	円	958,000	762,000	905,500	823,000	1,098,500	

## 顧客に対する責任

品質方針	有	「品質方針」
研究開発方針	有	「研究開発方針」
商品検査方針	有	「商品検査方針」
責任ある広告・マーケティングに関する方針	有	「広告・販促物等制作ガイドライン」に含む
関連問題への対応・取り組み	有	規程や基準の順守徹底、社内教育の実施
業界イニシアチブへの参加	有	ダストコントロール協会、日本フードサービス協会、日本フランチャイズチェーン協会の趣旨に賛同し加盟
商品による悪影響の低減	有	プライスカードにアレルギー及びカロリーを表示 <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/safety/food/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/safety/food/index.html</a>
悪影響削減に向けた取り組み	有	低カロリー商品開発、低トランス脂肪酸の油脂開発 <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/safety/food/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/safety/food/index.html</a> <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/safety/voice/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/safety/voice/index.html</a>
障がい者や高齢者等に対する取り組み	有	身体障害者補助犬の同伴入店、点字メニューや筆談メニューの設置

# ガバナンス

## コーポレート・ガバナンス

コーポレートガバナンスに関する基本方針

取締役の選任方針	有	コーポレート・ガバナンス <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/governance/corporate/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/governance/corporate/index.html</a>
役員の報酬等の決定方針		
政策保有株式に関する方針		

業務運営の基本方針	有	内部統制システム <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/governance/internalcontrol/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/governance/internalcontrol/index.html</a>
-----------	---	---

資本政策の基本方針	有	投資家・株主とのコミュニケーション <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/governance/shareholder/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/governance/shareholder/index.html</a>
-----------	---	--

リスクマネジメント基本方針	有	リスクマネジメント <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/governance/riskmanagement/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/governance/riskmanagement/index.html</a>
---------------	---	--

コンプライアンス基本方針	有	コンプライアンス <a href="https://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html">https://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html</a>
--------------	---	---

			2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
取締役の人数	社内・男性	ダスキン単体	9	9	9	6	6	
	社内・女性	ダスキン単体	0	0	0	0	0	
	社内計	ダスキン単体	9	9	9	6	6	
	社外・男性	ダスキン単体	1	1	2	2	2	
	社外・女性	ダスキン単体	2	2	1	1	1	
	社外計	ダスキン単体	3	3	3	3	3	
	総計	ダスキン単体	12	12	12	9	9	
社外取締役比率	ダスキン単体	%	25.0	25.0	25.0	33.3	33.3	
女性取締役比率	ダスキン単体	%	16.7	16.7	8.3	11.1	11.1	
監査役的人数	社内・男性	ダスキン単体	2	2	2	2	2	
	社内・女性	ダスキン単体	0	0	0	0	0	
	社内・合計	ダスキン単体	2	2	2	2	2	
	社外・男性	ダスキン単体	2	2	2	2	2	
	社外・女性	ダスキン単体	1	1	1	1	1	
	社外・合計	ダスキン単体	3	3	3	3	3	
	総計	ダスキン単体	5	5	5	5	5	
女性監査役比率	ダスキン単体	%	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
監査役会の設置の有無	ダスキン単体	有	監査役会の監査役の過半数が独立役員					
取締役会の実効性評価	ダスキン単体	有	1期毎に実施					
取締役任期	ダスキン単体	年	1	1	1	1	1	
取締役会	開催回数	ダスキン単体	回	27	26	26	22	20
社外取締役の出席率	ダスキン単体	%	100	98.5	100	100	100	
監査役会	開催回数	ダスキン単体	回	14	14	14	14	13
社外役員会議	開催回数	ダスキン単体	回	-	5	9	6	8
CSR委員会	開催回数	ダスキン単体	回	2	2	2	2	2
(2016年まで品質・環境委員会)	委員数	ダスキン単体	人	11	11	9	9	9
リスクマネジメント委員会	開催回数	ダスキン単体	回	2	2	2	2	2
	委員数	ダスキン単体	人	10	10	11	11	12
コンプライアンス委員会	開催回数	ダスキン単体	回	4	4	4	4	4
	委員数	ダスキン単体	人	10	10	11	11	12
取締役報酬 (社外取締役を除く)	基本報酬	ダスキン単体	千円	260,700	256,500	249,000	240,521	213,121
	ストックオプション	ダスキン単体	千円	取締役報酬に株式報酬型ストックオプションを導入			9,340	10,409
	賞与	ダスキン単体	千円	30,700	23,100	38,500	47,200	47,000
	合計	ダスキン単体	千円	291,400	279,600	287,500	297,062	270,530
監査役報酬 (社外監査役を除く)	基本報酬	ダスキン単体	千円	41,550	43,800	43,500	44,100	70,200
	賞与	ダスキン単体	千円	7,200	4,200	7,200	7,200	12,000
	合計	ダスキン単体	千円	48,750	48,000	50,700	51,300	82,200
社外役員報酬	基本報酬	ダスキン単体	千円	36,300	42,150	41,500	42,150	43,500
	賞与	ダスキン単体	千円	8,100	8,700	9,300	9,600	9,600
	合計	ダスキン単体	千円	44,400	50,850	50,800	51,750	53,100
監査報酬額	監査証明業務	ダスキン単体	百万円	76	76	76	78	80
	非監査業務	ダスキン単体	百万円	0	2	0	0	0

## 腐敗防止

倫理規範	有	「ダスキン行動宣言」「ダスキン行動基準」を含む <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/kijun.html">http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/kijun.html</a>
腐敗防止方針	有	贈収賄に関する基本方針
贈収賄を含む苦情通報制度の設置	有	社内外のホットラインを設置 <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html</a>
汚職行為禁止に関する社員への周知	有	「ダスキン行動基準(手帳)」を全社員に配布
汚職行為禁止に関する社内研修	有	コンプライアンス研修（反社会勢力への対応など過去実施あり） <a href="http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html">http://www.duskin.co.jp/csr/governance/compliance/index.html</a>

		バウンダリー	単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
政治献金		ダスキン単体	円	0	0	0	0	0
汚職に関する方針違反を理由とした社員の解雇または懲戒処分		ダスキン単体	人	0	0	0	0	0
汚職に関する重大な罰金の総額		ダスキン単体	円	0	0	0	0	0
コンプライアンス研修	受講者数	ダスキングループ	名	6,194	6,378	6,234	6,462	6,623
	受講率	ダスキングループ	%	98.6	98.5	97.0	99.0	99.8
ホットライン利用者数	社内	ダスキングループ	件	44	42	15	22	21
	社外	ダスキングループ	件	16	13	8	9	4
	合計	ダスキングループ	件	60	55	23	31	25
人権侵害の苦情件数	パワーハラスメント	ダスキングループ	件	2	5	0	1	2
	セクシャルハラスメント	ダスキングループ	件	0	3	1	1	1
	合計	ダスキングループ	件	2	8	1	2	3

# 環境

## 気候変動／エネルギー使用／汚染・廃棄物・資源使用／ 水使用量・漏水削減／生物多様性

ダスキングループは、「環境理念」「環境方針」の中で、「気候変動」「エネルギー使用」「汚染／廃棄物／資源使用」「水使用量／漏水削減」「生物多様性」に対する考え方を定めています。

### 環境理念

1998年制定

祈りの経営ダスキンは地球環境の恩恵に感謝し、人類と自然環境との共生と平和を願い、地球環境保全に配慮して行動いたします。

### 環境方針

1998年制定

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

#### 1. 環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客様によるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

#### 2. 環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

#### 3. 環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO2排出の削減に取り組みます。環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

#### 4. 環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

#### 5. 環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。



# 気候変動への対応

ダスキングループでは、気候変動についての考え方を、次のように定めています。

## 基本的な考え方

異常気象など気候変動に起因する影響は徐々に深刻化しており、気候変動への対応は地球規模の課題です。ダスキンは、環境経営を推進しサステナブル企業として持続可能な社会の構築に貢献するため、低炭素社会の実現に取り組み、課題解決に積極的に貢献します。

## 気候関連のリスクと機会への取り組み

2017年6月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下「TCFD」）の最終報告書が公表されて以来、気候変動の影響を把握し、企業のリスクと機会についての情報開示が求められています。

ダスキンは、気候変動に関するリスクと機会を重要な経営課題と認識しています。TCFDの要請に基づいた情報開示を進めるため、TCFDの分類に合わせて、気候関連のリスクを①低炭素経済への移行リスク、②気候変動の物理的影響に伴うリスクに分類し、検討を進めています。機会については、バリューチェーンの最適化、提供する製品・サービスの省エネルギー化により低炭素社会の構築に貢献していくことが大きな機会であると位置づけ、今後も拡大に向けた議論を進めていきます。

リスクと機会を検討するガバナンスとして、役付執行役員、社外役員等をメンバーとする「CSR委員会」および全社の環境政策・方針を決定する「品質・環境会議」、環境政策を進捗管理する「環境連絡会」を設置しています。

## シナリオ分析

シナリオ分析は、移行リスク、物理的リスクの2つに大別されます。

移行リスクは、低炭素経済への移行に関連したリスクであり、具体的には、低炭素経済へ移行する中で政策および法規制、技術、市場、評判の大きな変化に起因するリスクです。移行リスクのシナリオでは、IEA（国際エネルギー機関：International Energy Agency）シナリオが特に知られています。このうち、IEA WEO 450ppm Scenario は2℃シナリオとして知られています。

一方、物理的リスクは気候関連の物理的影響に伴うリスクを示し、気候パターンにおける急性・慢性リスクの2種類に区分されます。急性リスクとは、台風や洪水、高潮などの異常気象の激甚化によって受ける影響です。慢性リスクは、降水パターンの長期的な変化や気象パターンの変動、平均気温や海面の上昇によって受ける影響です。物理的リスクとして知られている、IPCC（気候変動に関する政府間パネル：International Panel on Climate Change）が公開するRCP シナリオでは、大気中の温室効果ガスの濃度を固定し、将来の様々な時点における地球の温度変化を分析しています。このうち、RCP2.6は、将来の気温上昇を産業革命前と比べて2℃以下に抑えることを目標としたシナリオです。

ダスキンは、上記のTCFDが推奨する2℃シナリオによる分析を踏まえて、将来における様々な状況を網羅的に把握していきたいと考えています。

## 環境中長期目標

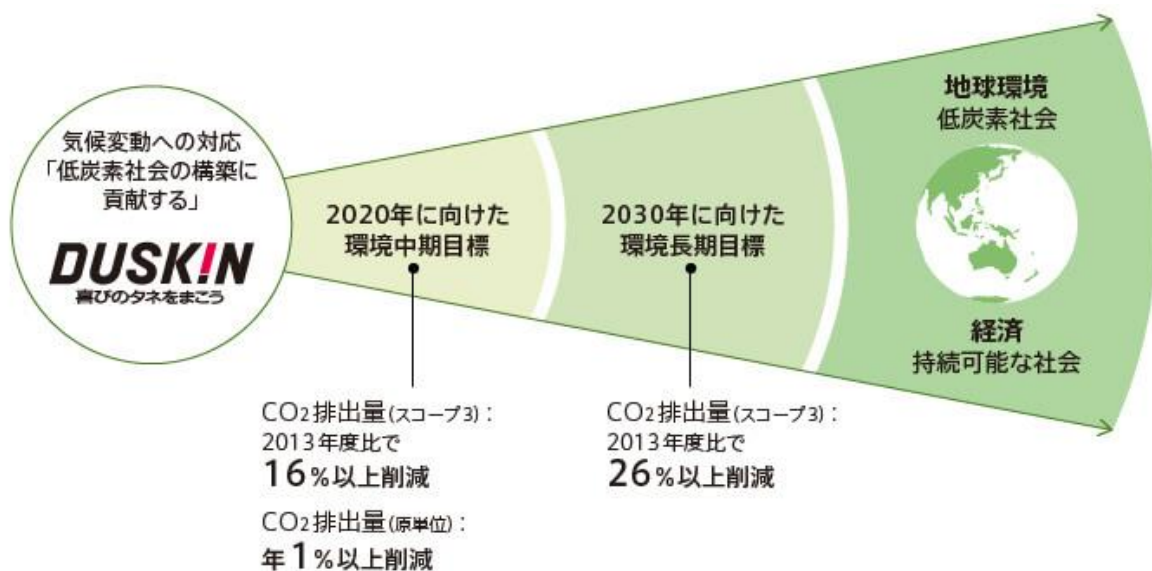
ダスキンでは、2018年度に2020年度までの3か年計画で環境中期目標を策定し推進しています。この環境中期目標では、環境長期ビジョンで描いた2030年のあるべき姿に向かって、温室効果ガスの削減に重点的に取り組んでいます。

2015年に開催されたCOP21において採択された「パリ協定」では、各国が国家レベルでのCO2排出削減目標を約束しており、日本は「2030年までに2013年度比で26%削減」を目標としています。

そこでダスキンでは、日本企業としてその責任を果たすべく、フランチャイズチェーン全体での省エネルギー活動を推進しています。スコープ3の範囲については、政府目標と同等以上を目標をとし、CO2排出量削減に取り組んでいます。

また、スコープ1・2（グループおよび協栄事業所）におけるエネルギー使用量についても、事業所毎の実績に基づいて、標準使用量（目標値）を每期設定・管理しています。スコープ1・2におけるCO2排出量については、独立第三者による保証を受けています。

事業活動におけるエネルギー使用の一層の効率化をはかったり、よりクリーンなエネルギーを導入したりすることで、地球温暖化の原因となるCO2の排出量の削減を着実に進めていきます。



## 水資源の保全・水リスク

ダスキングループでは、水資源及び水リスクについての考え方を、次のように定めています。

### 基本的な考え方

気候変動や森林破壊、新興国・途上国の人口増加や経済成長などに伴い、世界規模で水不足が深刻化しています。企業にとっても、水不足は事業継続に影響を及ぼしかねないリスクであり、水の使用量削減や再利用が重要な課題となっています。

日本においては、慢性的な水不足という事態には至っていませんが、水不足や水質汚濁などの水問題は、当社グループと決して無関係ではありません。

そのような課題認識のもと、ダスキンは、水資源保全の基本理念として、「自然からお預かりしたものは、元の状態にして自然にお返しします」という言葉が創業当初から受け継がれています。今後も変わらず、水資源の有効活用や水質の保全活動に取り組んでいきます。

### 水リスク

ダスキングループが事業を推進・継続するにあたり、十分な量の水資源がすべての生産事業所およびバリューチェーンにおいて利用可能であることが重要であると考えています。

水に関するリスクとしては、物理的リスク、規制リスク、評判リスク等が考えられ、世界的に関心が高まっています。

ダスキングループでは、生産事業所および開発研究所を対象とし、事業に影響をおよぼすと考えられるリスクについては、水不足、水質悪化、排水の水質／排水量の規制、水の効率的な使用など、物理的・規制および評判リスクが要因となる事業への影響について把握に努め、その結果に基づき分析を進めています。

### 水リスク要因と主な影響

リスク要因	主な影響
水不足	水の供給が停止・制限された場合の研究・生産活動の低下
水質悪化	水浄化コストの増加
洪水・高潮・豪雨	河川氾濫による設備等の浸水
水の効率化、リサイクル等に関する完全義務化	再生水利用の完全義務化による設備設置等のコスト増加
排水の水質／排水量の規制強化	下水道代上昇によるコスト増加 排水の水質規制強化による設備設置等のコスト増加
水供給の季節変動・経年変動	変動による安定操業への影響
水価格の高騰	水価格上昇による操業コストの増加
地域社会	地下水の汲み上げによる地盤沈下等への対応

## 環境に関するサプライヤー調達方針

ダスキングループでは、「購買方針」「CSR調達に関する基本方針」「グリーン購入ガイドライン」の中で、環境に関するサプライヤー調達についての考え方を定めています。

### **購買方針**

#### **購買物流管理規程（第4条）**

7. 環境負荷の少ない物品の優先購入（グリーン調達）をより一層推進し、仕入先と協同して資源循環型社会の構築に努めるものとする。

### **グリーン購入ガイドライン**

#### **3. グリーン購入の基本的な考え方**

必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品を購入する。

#### **購入時に考慮する項目（製品ライフサイクル全般への配慮）**

- ①有害物質（排出ガス、重金属、フロン等）の使用や排出が削減されていること
- ②省資源、省エネルギーの製品であること
- ③木材等再生可能な資源を適切に利用した製品であること
- ④長く使えること
- ⑤再使用、リサイクルされること
- ⑥再生材料を用いていること
- ⑦適正な処理や処分がしやすいこと

### **CSR調達に関する基本方針**

#### **4. 地球環境への配慮**

私たちは、「ダスキ環境方針」に準拠し、地球環境保全に配慮した調達活動を推進します。

## 人権方針／労働基本権の方針／児童労働防止方針／強制労働防止方針／非差別方針

ダスキングループでは、「ダスキン行動基準」「人権尊重に関する基本方針」の中で、人権についての考え方を定めています。

### ダスキン行動基準

#### 第6章「ダスキンと私たち（社員に対して）」

##### 1. 人権の尊重

私たちは、仕事を通じて、一人ひとりがその個性や能力を伸ばすことができるよう、お互いに配慮します。私たちは、日本国憲法や労働基準法などで定められている働きさん（社員）の基本的な人権を守るとともに、風通しの良い職場作りに努め、一人ひとりの意見が仕事に十分に反映されるよう努めます。

##### 2. 公正な評価と処遇

私たちは、働きさんとしての多様な考え方や価値観を認められ、職場においては公正に評価され処遇されます。性別・年齢・国籍・人権・信条・宗教・身体上のハンディキャップなどにより、評価や処遇において差別されることはありません。

##### 3. 性別による役割分担意識の排除

私たちは、業務上の意思決定の場における女性働きさんの参画を積極的に推進し、性別による固定的な役割分担意識を排除します。また、女性働きさんの能力を最大限発揮できるように具体的な目標を定めて環境・制度などの整備を行います。

##### 11. ハラスメントの排除

私たちは、職場での自分の行動が、性的嫌がらせ（セクシャルハラスメント）や優越的な立場の濫用による職場での嫌がらせ（パワーハラスメント）などにならないよう細心の注意を払います。

### 人権尊重に関する基本方針

共通の価値観を示すダスキン行動基準では、「ダスキンと私たち」の1番目に「人権の尊重」を掲げています。これは、「あらゆる企業活動の中で、『人権尊重』の精神を根底に据えて活動する」という企業の姿勢を明示したものです。こうした人権尊重の取り組みを推進し、ダスキン行動基準を補完する人権方針を定めます。

##### 1. 国際規範の支持

私たちは、国際的に宣言されている基本的な人権を尊重し、これを侵害しません。

##### 2. 労働基本権の尊重

私たちは、結社の自由および労働者の団結権、団体交渉の権利など、労働基本権を尊重します。

##### 3. 強制労働・児童労働の防止

私たちは、企業活動における強制労働や児童労働を一切認めません。

##### 4. 差別の排除

私たちは、人種や国籍、性別、年齢、性的指向、宗教、障がいなどを理由とする差別をなくします。

##### 5. 働きやすい職場環境

私たちは、最低賃金の順守や長時間労働の削減とともに社員の安全と健康に配慮し、働きやすい職場環境づくりに努めます。

##### 6. 人権教育・啓発の取り組み

私たちは、人権に関する正しい理解と認識を深めるために啓発活動に努めます。

# CSR調達方針

ダスキングループでは、「ダスキン行動基準」「CSR調達に関する基本方針」の中で、CSR調達についての考え方を定めています。

## ダスキン行動基準

### 第4章「取引先に対して」

#### 1. 取引における法令順守

私たちは、取引先との信頼関係を維持するために、独占禁止法、下請法などの内容を十分に理解し、取引のすべてにおいて公正さを保持します。

#### 2. 取引先へのコンプライアンス順守の要請

私たちは、消費者・お客様に安全で安心な商品・サービスを提供するため、取引先に対して厳格な法令順守と徹底した安全管理を求めます。

#### 3. 契約に基づく対等な関係

私たちは、取引先に対して取引条件などを自由、対等な立場で十分に話し合い、公正な契約を結びます。

#### 4. 公正な基準と適正な手続き

私たちは、取引先の選定、取引継続については、価格・品質・納期など公正な基準と適正な手続きに則り、最終的な決定を行います。非合法・反社会的な取引先とは一切関係を持ちません。

#### 5. 取引先との節度ある関係

私たちは、取引先との信頼関係を業務上のコミュニケーションを深めることによって構築します。私たちの家族を含めて社会的常識の範囲を超えた接待・饗応・贈答などは、受けず、行わず、要求しません。

#### 6. 国際ルールの尊重と現地法令の順守

私たちは、海外で事業を展開する際には、国際ルールや現地法令の順守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、相互の信頼に基づく事業活動を行います。また私たちは、海外での事業活動においても、自社の利益の追求だけでなく、その国や地域の豊かな社会の実現に貢献する経営を行います。

## CSR調達に関する基本方針

私たちは、ダスキン行動基準（コンプライアンス）を順守するとともに、人権・労働・地球環境保全など社会的責任を果たす調達活動を取引先とともに推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 1. 法令順守と国際規範の尊重

私たちは、各国・地域の法令を順守し、国際行動規範を尊重した公正・公平な調達活動を推進します。

#### 2. 人権・労働・安全衛生への配慮

私たちは、「人権尊重に関する基本方針（労働基本権の尊重、強制労働・児童労働の防止、差別の排除、働きやすい職場環境、人権教育・啓発の取り組み）」に準拠し、労働環境や安全衛生に配慮した調達活動を推進します。

#### 3. 品質・安全性の確保

私たちは、「ダスキン品質方針」に準拠し、品質・コスト・供給の最適な水準に基づく高い品質と安全・安心の確保をめざした調達活動を推進します。

#### 4. 地球環境への配慮

私たちは、「ダスキン環境方針」に準拠し、地球環境保全に配慮した調達活動を推進します。

#### 5. 情報セキュリティの保持

私たちは機密情報および個人情報などを厳格に管理した調達活動を推進します。

## 品質方針

ダスキングループでは、品質についての考え方を、次のように定めています。

### ダスキン行動基準

#### 第1章「消費者・お客様に対して」

##### 1. 安全・安心で環境に配慮した商品・サービスの提供

私たちは、商品・サービスのすべての段階（研究、開発、購買、製造、流通、お客様のご使用、廃棄）において安全性を最優先します。このため、私たちは常に責任をもって品質保証体制の確立、維持と環境負荷の低減を図ります。また私たちは、消費者・お客様に安全で優れた商品・サービスをお届けするために、パートナーである取引先の正確な状況を常に把握し、その品質や安全管理に協力し、また取引先の動向の変化に的確に対応できるよう努めます。

##### 6. 消費者・お客様の声を尊重

私たちは、消費者・お客様からの苦情、ご意見、ご要望を正確に理解し、迅速・誠実に対応します。

そのために、お問い合わせ窓口やその仕組みを充実させ、消費者・お客様の声を十分に生かして、商品・サービスの改善・改良及び開発に取り組みます。

##### 8. 迅速・正確な情報開示と誠実な対応

私たちは、商品・サービスに不具合が発見された場合には、経営トップの判断のもと速やかに対応します。消費者・お客様の皆様に対してご迷惑をかけるおそれがある場合には、事実関係を迅速・正確にお伝えし、誠実に対応します。

### 品質方針

ダスキンは安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービス、そして楽しさをお手渡しします。

1. 商品・サービスは全ての段階（研究、開発、購買、製造、流通、お客様のご使用、廃棄）において、安全性を最優先します。
2. 商品・サービスにおいても環境負荷低減を図って参ります。
3. 消費者・お客様の声を誠実にお聴きし、商品・サービスに活かします。
4. 法令や社内規程等を遵守し、品質保証活動を確実なものとしします。

## 研究開発方針

ダスキングループでは、研究開発についての考え方を、次のように定めています。

### 研究開発方針

私たちは清掃・衛生関連分野において、生活者を第一に捉え、研究開発を行うにあたり、次の5項目を実践し、社会に対して健康で快適な暮らしを提供することを約束します。

1. 常に社会・家庭の実態を把握し、お客様の困りごとを分析して研究開発の優先度を決定します。
2. 新規性、進歩性、独自性に富んだ研究や技術開発を行います。
3. 社会・人・自然に対して、安全・安心が担保できる商品を開発します。
4. 環境保全に寄与し、省資源化が可能な原材料を使用した商品を開発します。
5. 市場に導入された商品は、常に改良を図り、消費者に最適な機能とご満足をお届けします。

## 責任ある広告・マーケティングに関する方針

ダスキングループでは、「ダスキン行動基準」「広告・販促物等制作ガイドライン」の中で、責任ある広告・マーケティングについての考え方を定めています。

### ダスキン行動基準

#### 第1章「消費者・お客様に対して」

##### 3. 適正な表示と説明

私たちは、商品・サービスの内容や取扱いなどについて、業務知識を深め、消費者・お客様に誤解や誤認を与えない正確でわかりやすい表示やきめ細かい適切な説明を行います。

### 広告・販促物等制作ガイドライン

#### 1. ガイドライン制定の目的

消費者へ商品・サービスの提供を行う際、消費者がそれらを選択するための判断情報として、広告・販促物等の表示物等がある。その表示物等の不具合によりお客様の利益に損害を与えないことを目的として、「品質管理規程」に基づき、広告・販促物等を制作する際の基本方針をガイドラインとして制定する。

#### 5. 広告・販促物制作についての基本方針

広告・販促物等を制作する事業部門が責任をもって制作、確認を行い、本社部門のダブルチェックをもって内容を確定する。商品・サービスについての表現や文言は、根拠資料と共に承認されたものを用いる。販促企画などのキャンペーン内容は、事前に法的な確認を得られたものを用いる。

## 地域・社会貢献活動方針

ダスキングループでは、地域・社会貢献活動についての考え方を、次のように定めています。

### ダスキン行動基準

#### 第2章「社会に対して」

##### 4. 社会貢献

私たちは、地域社会、ひいては社会全体と協調するような企業活動に努めるとともに、社会貢献活動に積極的に参加します。

### 地域・社会貢献活動方針

社会貢献活動は、持続性が重要であり、一過性の取り組みではかえって社会からの信頼を損なう可能性があります。「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の考え方に基づいた社会貢献活動に取り組んでまいります。

#### 1. 活動の領域

私たちは、活動の対象として「地域との共生」、「次世代育成」、「環境保全」を重点領域と定め、加盟店を含むダスキングループ全体で社会貢献活動を実践します。

#### 2. 本業とのかかわり

持続可能な取り組みであり、本業にプラスの効果をもたらす活動を優先事項とします。

#### 3. 連携や協働による実践

人と人とのつながりや地域社会とのパートナーシップを大切にします。



# ガバナンス

## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

ダスキングループは、様々なステークホルダーの期待に応え、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を果たす企業となるために、コーポレート・ガバナンスの強化を経営の最重要課題と捉えております。経営環境の変化に迅速且つ的確に対応できる経営体制を確立すると共に、健全で透明性の高い経営が実現できるよう、体制や組織、システムを整備してまいります。すべての企業活動の基本にコンプライアンスを据え、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

コーポレート・ガバナンスに関する報告書（東京証券取引所に掲載）

<https://www.duskin.co.jp/csr/governance/corporate/pdf/governance.pdf>

## 腐敗防止方針

ダスキングループでは、ダスキングループ行動基準において「法と社会常識に則した行動」「反社会勢力への対応」「行政との健全な関係の保持」を掲げ、公務員等に対する贈賄等の禁止などの違反行為の防止に努めています。また、ダスキングループ行動基準を補完するため、贈収賄に関する基本方針を定め、コンプライアンス研修等を通じて、倫理意識の浸透・徹底を図っています。

### ダスキングループ行動基準

#### 第2章「社会に対して」

##### 5. 反社会的勢力への対応

私たちは、反社会的勢力・団体からの不当な圧力や金銭の要求などについては断固拒否します。また、社会から不透明な交流と誤解を招くような関係は決して持ちません。

##### 6. 行政との健全な関係の保持

私たちは、官公庁及びその職員との関係において、法律や条例、行政機関などのルールを守り、金銭や物品の贈与、接待などを行いません。

#### 第4章「取引先に対して」

##### 5. 取引先との節度ある関係

私たちは、取引先の選定、取引継続については、価格・品質・納期など公正な基準と適正な手続きに則り、最終的な決定を行います。

#### 第6章「ダスキングループと私たち」

##### 6. 法令・ルールに基づく判断・行動

私たちは、いかなる場合でも法令、社内規程などの各種ルールに基づいて判断し行動します。これに背く場合は、業務命令であっても従いません。また、上司や同僚から不正行為をするよう強要された場合や、不正行為に気がつき職場内で解決できない場合は、社内相談先またはホットラインに報告します。私たちは、他の人々や会社が所有する著作権、特許権やノウハウなどを尊重し、これらの権利を侵害することのないように注意します。ソーシャルメディアを利用する際は、働きさんとしてガイドラインに沿った行動を取ります。

## 贈収賄に関する基本方針

### 1. 贈収賄の禁止

私たちは、何人に対しても直接・間接を問わず、賄賂の供与、申し出、約束をせず、また賄賂の受領を一切行いません。

### 2. 贈収賄防止体制とリスク管理

私たちは、コンプライアンス担当部署や内部通報窓口「ホットライン」の公平かつ公正な運用に努め、役員及び社員に対する教育・研修の実施、内部監査による監査体制を整備します。また、継続的に贈収賄防止体制の有効性を評価し、必要に応じて改善を行います。

### 3. 支払記録の保管

私たちは、適切な内部統制システムの下で会計帳簿を事実に基づき正確に記録し、支払記録を適正に保管します。

### 4. 懲戒

私たちは、役員及び社員が本方針に違反したことが明らかになった場合には、就業規則等に基づいて厳正に処分します。